

学校再編だより

萬歳小学校

— 第 5 号 —

— 保護者と地域の協働による検討会議 —

令和5年12月発行

旭市教育委員会教育総務課 学校再編室

萬歳小学校地域検討会議の意向まとまる

「子どもたちのことを最優先に考え、

古城小への統合に賛成」

11月7日（火）午後6時30分から干潟公民館1階ホールにおいて、第4回萬歳小学校の再編に係る地域検討会議を開催しました。

今回の会議では、萬歳小学校地域検討会議としての検討結果をまとめた報告書（案）について最終確認をしました。子どもたちや保護者の現状を踏まえ、今後多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられるよう、子どもたちのことを最優先に考え、基本方針にある古城小学校への統合に賛成という結論になりました。

また、統合に向けての要望事項の取りまとめも終わったため（裏面に掲載）、今回の会議をもって、萬歳小学校地域検討会議は終了となりました。

今後は、各校の代表者からなる代表者会議を設置し、最終的な統合の可否を審議します。そこで統合の了承を得たら、「統合時期」、「学校名」などを検討していくことになります。

これまでの会議概要

第1回 (R5.7.6)	(1) 会議の目的と運営方法について (2) 旭市学校再編基本方針の概要について (3) 干潟地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (4) 意見交換
第2回 (R5.8.29)	(1) 旭市学校再編基本方針の策定経緯 (2) 小中一貫教育・義務教育学校について (3) 事例紹介（香取市立山田小学校） (4) 事例紹介（学校の跡地活用） (5) 意見交換
第3回 (R5.10.4)	(1) 検討結果の報告書（案）について (2) 意見交換
第4回 (R5.11.7)	(1) 検討結果の報告書（案）について

萬歳小学校地域検討会議 検討結果

(仮称) 干潟地域小学校の統合について旭市立萬歳小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

「中和小、萬歳小、古城小を1校に統合し、統合校の位置は古城小を活用」

とする基本方針に「賛成」とする。

【検討の経緯と理由】※一部抜粋

会議の中では、早く統合してほしいといった意見のほか、もっと広域的な統合、萬歳地区から古城小学校までの距離に対する懸念や小中一貫校などの様々な意見があった。

多くの意見を出し合った結果、子どもたちや保護者の現状を踏まえ、今後、多くの人と触れ合い、考え方の幅や社会性が身に付けられるよう、子どもたちのことを最優先に考え、統合は「賛成」または「やむを得ない」という意見が多数であったため、基本方針に「賛成」となった。

なお、統合にあたっては早期に実現するよう努めるとともに、安全で安心して生活できる学校環境の整備や保護者や児童の心配や不安が少しでも解消できるように進めるため、次のとおり要望があった。

【統合に向けての要望事項】

- ①統合に向けてスピード感をもって進めていただきたい。ただし、子どもたちの不安や悩みを少しでも取り除き、新しい学校生活がより良いものとなるよう、統合前の交流や統合前後を通して個々に応じた心のケアなどの必要な活動のほか、先生の配置について、統合校でも子どもたちが知っている先生が残るように配慮をしていただきたい。
- ②古城小学校の東側の法面について十分な対策を講じて、子どもたちの安全を確保していただきたい。
- ③より魅力ある給食が提供できるように統合小学校または新しい中学校を整備する際に給食調理場を併設することを検討していただきたい。
- ④スクールバスの停留所は子どもが無理なく歩いて行ける距離で安全に乗降できる場所に設置していただきたい。また、停留所までの道路についても安全対策を講じていただきたい。また、バスロータリー等の整備は歩行者との動線を分けるなど、安全の確保を踏まえた整備をしていただきたい。
- ⑤児童の送迎やイベント等で使いやすいように駐車場の整備を検討していただきたい。
- ⑥萬歳小学校の跡地活用は、新たな地域の拠点として地域の活性化につながるような活用方法を地域とともに検討していただきたい。
- ⑦統合校は、心豊かに育つ萬歳の子どもたちが元気に学校に通う姿を想像し、新しい学校として地域のみんなで作り上げるような一体感を醸成していただきたい。

